

市民活動センター

たちかわ通信



編集・発行

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ
〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47 Tel : 042-529-8323 Fax : 042-529-8714
【E-mail】aiaivc@whi.m-net.ne.jp 【URL】http://act.annex-tachikawa.com/

開所日・時間

月～金曜日 8:30 ~ 19:00

土曜日 8:30 ~ 17:15

日曜日・祝祭日はお休みです。

市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2005.9 Vol.29

市民活動センターたちかわ助成事業（後期） の申請受付がはじまります！！

市民活動センターたちかわ助成事業は、市民活動を行おうとする団体の設立や活動を広げるための資金を助成することで『多くの市民が参加し、活気あふれるまちづくりの推進に貢献すること』を目的として年2回（4月・9月）実施しています。

今回、助成事業（後期）の日程が下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。

申請を検討されている団体は事前に担当者へ連絡の上、申請書及び申請に必要な書類（予算書、

見積り書、団体の活動がわかるもの等）を市民活動センターたちかわの窓口までご持参下さい。

なお、申請書につきましては当センター窓口にお越しいただくか、もしくはホームページ（上記URL参照）よりダウンロードしてお使い下さい。その他ご不明な点がございましたらお気軽にお問合せ下さい。

また、市民活動センターたちかわ通信6月号でもお知らせしましたが、平成18年4月以降、今年度の助成を受けられた団体の方々には、より多くの市民に賛同していただくため、助成事業の成果を一般公開で発表していただく報告会の開催を予定しています。報告会についての詳細につきましては助成決定後、お知らせいたします。

助成対象期間

給付決定書交付日～平成18年3月31日(金)

**給付決定書公布日より1年間ではありませ
るのでご注意ください。**

申請受付期間

平成17年9月10日(土)

～9月22日(木) 18:00受付分まで

土曜日は17:15まで。日曜・祝祭日は除きます。

審査会

平成17年10月初旬

助成金給付

立川市社会福祉協議会
市民活動センターたちかわ
平成17年度助成事業



<<<今月号のもくじ>>>

市民活動センターたちかわ 後期助成金事業のお知らせ！ 特集!!	P.1
その巻「駅ボランティア体験会」	P.2
その巻「地域懇談会」	P.3
市民活動センターにやってきた 書籍・報告書	
情報コーナー	P.4-6
市民活動団体の活動から ご存知ですか？「学習障害」のこと	P.7
市民活動センターからのお知らせ！	P.8

「その問題はお医者さんへ」「は役所へ」…。最近「専門家」にお任せをできて良しとしていることが多い気がします。専門家も大事ですが、「素人」だからできる地域を結びつける活動があります。

その声

駅で困っている人の手助けをする ～多摩都市モノレール株の「駅ボランティア」体験会から～

「駅ボランティアを募集したい」というご相談を、多摩都市モノレール株さんから頂きました。「駅ボランティア」という言葉は聞きなれなかったのですが、どういうイメージなのかを伺うところからお話をすすめることにしました。

ついでに活動する「駅ボランティア」

この制度はすでに一部の私鉄などでは導入されています。例えば障害のある方や高齢者などで困っている人を見かけたら、ホームへの案内、手荷物の運搬、切符の購入や移動のお手伝いをする、という活動内容です。ボランティアに登録している人は、時間を作って駅で活動することもできますが、多くの方は自分がモノレールを利用しているときに活動することになりそうです。

当センターは、実際の活動に先立って活動希望者向けに開催される「体験会」のプログラム作成をすることにしました。自立生活センター立川(障害のある方が主体となって障害のある方の自立と地域生活を支援する団体)とも協力をして、まずは視覚障害者と車椅子ユーザーを講師として招き、介助する方法、また、普段理解されにくい知的障害者の困りごとなども知ってもらうことにしました。



◀ホームと車両をつなぐスロープの説明。介助の仕方は相手の方に聞きながらやれば良い。

応募してきた人の動機

正直、この活動に応募する人はどういう理由だろうか、と疑問に思っていましたが、実際には37人もの方が応募がありました。参加者の皆さんに体験会で「参加の動機」を伺うと、その中の多くは「今までも困っている人や気になる人を見かけて手助けしよう、したいと思ったがどうしたら良いのかわからなかった」というものでした。

このボランティア活動の仕組みによって、自分にできることはないかと思っている人たちに、気軽に行動するきっかけが提供されたと言えるかも知れません。当センターでも「夏！体験ボラン

ティア」を企画しておきながら、こういう参加者の気持ちにあまりピンと来なかったのは、反省の予知があります。「ちょいボラ」というのはこのことなのでしょう？

他の企業や市民活動団体でも、多くの市民に柔軟な発想で活動場所や機会を提供して行くことは、団体の支援者を増やすことにもつながるのではないかと感じました。

介助の専門家になる必要はない

～恥を恐れずに声をかけて～

さて、体験会でひと通りのアイマスク体験や車椅子体験などが終わり、障害がある人と活動希望者の距離が大分近づいたと感じました。介助の仕方はごく基本的なものなので、駅で一人で活動する時に「介助できるか不安。(感想文より)」なのは当然です。また、講師として参加した障害のある方も発言されましたが、障害や状況は一人一人違うので、断られることもあるし、相手によっては機嫌が悪くバツの悪い思いをすることも実際にあり得ます。

それでもどんどん声をかけて欲しいと考えています。体験会プログラムを障害当事者と一緒に実施するのは、「接してみて、声をかけ易くする」のが大きな目的の一つだからです。完成されたプロの技術はなくても、介助の仕方に自信がなくても、目の前の人に声をかけられる力が何よりも必要ではないでしょうか。どういうお手伝いをして欲しいかは、相手の方と話し合ってみれば良いです。

今回の企画は、モノレール構内だけではなく、声を掛け合えるまちづくりをするための企画としても有効な機会でした。ボランティアの皆さんには、近所でも他の場所でも体験を生かして頂きたいと思います。



◀エスカレーターで視覚障害者を誘導する体験。エレベーターが良い人もいます。これも相手と相談

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

本会（立川市社会福祉協議会）と立川市が住民の協力を得ながら作成した、地域福祉計画が始動します。地域懇談会をいくつかの地域で企画しているので、多くの住民の方と一緒に知恵を出し合っ、地域課題の解決に踏み出したいと考えています。その地域によって、懇談会の進め方も参加者もまちまちだと思いますが、地域の横のつながりを強める、というのはどの地域でも期待している点です。

「横のつながり」の一例をお伝えしたいと思います。

近所の人に注意されて感動した！

「注意された」のは社協職員の筆者です。以前認知症のある一人暮らしの高齢者Aさん宅に、サービス利用の件で初めて訪問した時のことです。電話で訪問の意図を私なりに分かり易く伝え、時間を設定してお宅に伺いました。ところが、お宅に着くと、Aさんは怖い顔をして、近所にある商店のご主人と二人で門の前に立ち、私を睨んで迎えました。「訳の分からない電話がきて、何かを売りつけに誰かが来る」と解釈されて、近所の人に援軍を頼んだのです。一通り説明をしてももちろん納得は頂いたのですが、商店のご主人からは「このおばあちゃんは、もっと丁寧に話してやらないと分からない。その辺を分かってやって欲しい」と注意を受けました。随分近所の関係が残っているのだなど、その後気になってAさんの行動を見てみると、商店街の各店でAさんの一日の行動を見

守っている様子でした。商店街の人に聞けば、Aさんがどこにいるのか大体分かるのです。

専門職だけに任せず、当事者と縁を切らない

近所で心配な高齢者がいると、公的な機関に連絡が入り、担当の専門スタッフがサービス提供を行うというのが一般的です。ところが、福祉職が関わると、今まで様子を気にかけていた人達までもが、一気に手を引いてしまうということも度々あるのです。Aさんの場合も、福祉職が関わっていました。ですが近所の見守り網も変わらずに張られていたので、おしゃべりもできるし、おそらく孤独感は比較的少なかったのではと思います。

色々な人が出会う場として

高齢者のことに限りませんが、専門家よりも、さりげなく様子を見守る行動などは、むしろ地域の人の方が長けています。近所の人にしか話せない愚痴もあります。情緒的にも豊かな生活を送るためにも、住民同士が連絡をとりあい、お互いにできることから手を引かない風土が必要です。地域懇談会が豊かな地域の風土作りの場ともなることを期待しています。

参考資料（市民活動センターにあります）

「まち・むら」90号・伊座利の未来を考える推進協議会の記事（徳島県）/市川手をつなぐ親の会の記事（千葉県）

市民活動センターたちかわにやってきた 書籍・報告書

NPO

- 「実践！NPOの会計・税務」（大阪ボランティア協会）
- 「市民の日本語 NPOの可能性とコミュニケーション」（加藤哲夫著 ひつじ書房）
- 「NPO法人立川子ども劇場三十周年記念誌とびっきり」
- 「NPOマネジメント（各月刊誌）」（IHOE [人と組織と地球のための国際研究所]）
- No29 情報公開力を高めよう
- No34 共感と信頼を生むプレゼンテーション
- No35 地元企業に活動をサポートしてもらいたい

団体運営

- 「問題解決のヒント！」（堀公俊 同文館出版）
- 「自分で調べる技術市民のための調査入門」（宮内泰介 岩波アクティブ新書）

災害援助

- 「協働で進める災害救援・ボランティア活動の手引き」（全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター）

この他にも様々な図書を貸し出していますので、お気軽にいらしてください。

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

情報コーナー

～イベント・講習・講座・ボランティア情報など～

ここに掲載されている情報の詳細に関しては、直接主催団体にお問い合わせください。

このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を毎月掲載しています。またこのコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は毎月20日までにご連絡ください。

イベント・講習・講座

ユニバーサリー・イン・立川

～障害者・高齢者にも優しい
便利グッズ&福祉機器展～

視覚・聴覚・片麻痺等の障害者や、高齢者の方々の日常生活に便利なグッズや、福祉機器の展示会を開催します。専門のスタッフが各種ご相談に応じます。お気軽にお立ち寄りください！ 入場無料

日時：9月3日(土)10:00～15:00

場所：立川市女性総合センターアイム 1F

主催：立川市の福祉とアクセシビリティを考える会

代表：寺井 TEL：080-1064-1302

スオミ・ミュージックステージ

スオミが歌声広場に！

プログラム：ともしび、前線にも春がきた、鶴、スリ
コor暗い夜 みんなで歌いましょう
ともしび、黒い瞳、ポートの上で、月夜
、コサックの子守唄、蚊の歌、ポルカ

出演：“合唱団 白樺” ロシア民謡

指揮：井沢武二 ピアノ：本間敦子

日時：9月25日(日)14:00開演

主催：社会福祉法人至誠学舎立川至誠ホームスオミ

TEL：042-527-0033 (担当:佐藤)

すみれ寮ぼれぽれコンサート

マリンバとギターのディオコンサート

障がいのある人も気軽に参加できるアットホームな『ぼれぽれコンサート』。今回は『愛・地球博』の会場で演奏している国立音大出身の大橋恵理さんの楽しいマリンバとギターディオコンサートです。

また、出演してくださる方、お手伝いしてくれる方もあわせて募集しています。ご連絡下さい。

日時：9月11日(日) 14:00～15:30

場所：ギャラリー&ティールームぼれぽれ

参加費：500円

連絡先：ギャラリー&ティールームぼれぽれ

TEL：042-520-3188(10:00～18:00)

出演問合せ：すみれ寮 (担当：さとう)

TEL：042-535-7103(19:00～20:00)



立川舞台芸術フェスティバル2005

仲秋の9月18日(日)、江戸後期の民家の雰囲気をとどめる立川市の有形文化財古民家園「小林家住宅」で、「古民家園コンサート2005」を開催します。150年の歳月を重ねた日本家屋(古民家園)の響きに触れる豊かなひとときをお楽しみください。

昼の部：14:00～16:00

「音のワークショップとアコーディオンのミニ・コンサート」...古民家園の見学をかね、アコーディオンのミニ・コンサートを楽しみませんか。音のワークショップで行われるアコーディオンのミニ・コンサートを無料公開します。

音のワークショップ(有料：こども500円/大人1,000円)参加者募集します。このワークショップは図形楽譜による曲作りの楽しさを体験する試みです。作った曲はツェルナーさんがアコーディオンで披露します。

対象：こども(10才以上)から大人まで。20名

講師：ペーター・ガーン(作曲家)

アコーディオン奏者：ツェルナー・エーファール

夜の部：18:00～20:00(有料一般：3,000円)

笙とアコーディオンのコンサート

「伝統から未来へ 西洋と東洋」

当日スタッフも募集しています。詳しくはP.5

問合せ：古民家園プログラム実行委員会(北澤)

TEL：042-529-1116

第37回至誠ホームバザー

みなさまからのご寄贈をお待ち申し上げております。ご寄贈品は毎日受付けておりますので、お届け頂ければ幸いです。なお、お持ちいただくことが難しい場合はご連絡頂ければ、後日お伺いいたします。

新品衣料・寝具(タオル・シーツ等)、雑貨、石鹸・洗剤など(恐れ入りますが中古衣料、中古家電、書籍等はお遠慮させていただきます。)

日時：10月15日(土) 10:00～14:00

場所：至誠ホーム けやき広場 他

(錦町6丁目、日野交差点そば)

問合せ：至誠ホーム(担当：平田、千葉、三村、五十嵐)

TEL：042-527-0031 FAX：042-527-2646

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

ひきこもりホットラインのご案内

外に出るのが怖い。学校に行けない。家族が家に閉じこもっている…。人に相談できずに悩んでいる方、勇気を出してお電話下さい。あなたの気持ちをきかせて下さい。

TEL : 03-3942-3820 (相談無料)

9月9日(金)～12日(火)の4日間 10:00～16:00

主催 : 子どもの会

〒170-0005 豊島区南大塚1-11-8-1階

TEL/FAX : 03-3946-3881

ボランティアグループ・市民活動団体のための『NPO法人入門講座』

定款の作り方、会計、労務など、法人格取得の手続きから運営までの基礎を学ぶ講座です。

日時 : 各回とも19:00～21:00

NPO法人化の意味と申請の手続き(9/27)

定款の作り方(9/28) NPO法人と税務(10/5)

NPO法人と会計(10/7) NPO法人と労務

(10/13) NPO法人格取得後の手続きと運営

(10/14)

場所 : 飯田橋セントラルプラザビル 10階 A・B会議室

対象 : NPO法人格の取得を検討している、または、法人取得後まもないボランティア・市民活動団体の方

定員 : 各回80名(定員になり次第締切)

参加費 : 各回とも2,000円

問合せ : 東京ボランティア・市民活動センター

TEL : 03-3235-1171(担当 : 熊谷、清水)

URL : <http://www.tvac.or.jp>

キラキラッとアートコンクール



才能に障害はない!

-子どもたちの可能性を応援します-

障害のある子どもたちの絵画コンクール、応募作品はすべてインターネットで公開します。

応募資格 : 「何らかの障害のある幼児・児童の作品」

応募年齢は18歳まで。

応募期間 : 9月30日(金)必着

応募作品 : 原則として平面表現のもので、未発表作品であるもの。キャラクター等を描いた作品は著作権法に関わる場合があるためお控えください。作品は主催者の刊行物等に掲載する場合があります。

一人一点。最大60cm×50cm以内(最小はA4程度)

応募方法 : 募集要項(<http://www.kodomonoie.com/>)を読み、所定の応募用紙を作品に貼り、お送りください。

問合せ : キラキラッとアートコンクール事務局

TEL : 03-5988-0523 FAX : 03-3953-9461

高齢者の財産管理

～遺言・相続から後見、悪徳業者対策まで～

高齢者問題に精通した弁護士に後見制度などを用いた悪徳業者対策から遺言・相続についてまで高齢者の財産管理全般について、幅広く講義して頂きます。みなさん、奮ってご参加下さい。

日時 : 10月1日(土)13:30～15:30(受付13:00～)

場所 : 多摩弁護士会館5階(八王子市明神町4-1-11)

講師 : 岩倉 哲二 弁護士

参加費 : 無料(先着順受付 : 定員50名)

問合せ : 東京三弁護士会八王子法律相談センター

TEL : 0426-45-4540

助成情報

大和証券福祉財団

第12回ボランティア活動助成

対象 : 特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動を目的とした団体・グループ

申込方法 : 所定の申込用紙により下記財団宛にお申込み下さい。申込書は下記財団へ電話又はファックスにてご請求下さい。下記からもプリントアウトして申請いただけます。http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf_info2005.html

申込書提出にあたっての注意事項は下記ホームページをご覧ください。

締切 : 9月15日(木)当日消印有効

申込・問合せ先 :

財団法人 大和証券福祉財団 事務局

〒103-8219 東京都中央区日本橋茅場町1-1-9

大和証券兜町ビル

TEL : 03-3665-5147 FAX : 03-3662-0495

<http://www.daiwa.jp/branding/kouken/dsf.html>



社会起業家をめざす若者のためのビジネスプランコンペティション「edge」

社会的な課題の解決に取り組む事業プランやアイデアを募集するものです。

対象 : 社会の課題をビジネスの手法を使って解決する社会起業家をめざす若者で、10代～30代の応募が歓迎されます。法人格の有無や活動形態は問われません。

審査 : ブラッシュアップワークショップ(全3回)、第2次審査、最終審査など、プログラムに参加出来ること、第1次審査通過者のみ、ワークショップ(必須)の参加費5,000円が必要となります。最終審査では、一般公開の場でプレゼンテーションを行います。

助成元 : edge実行委員会

URL : <http://www.edgeweb.jp/>

金額 : スタートアップ支援金の提供(最大50万円)

締切 : 2005年9月30日

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

古民家園コンサートの 当日スタッフ募集します。

古民家園コンサートの舞台裏の世界と一緒に体験してみませんか。(内容はP.4へ)

資格：9月18日(日)に以下の時間帯で参加できること

A*10:00~21:00(弁当あり)に参加できること

B*10:00~17:00(弁当あり)に参加できること

C*17:00~21:00に参加できること

役割：会場作り、受付と誘導、舞台のお手伝い

問合せ：古民家園プログラム実行委員会(北澤)

TEL：042-529-1116

障害者の地域生活を支える お手伝いをしてくれませんか？

知的障害があっても、お金の管理や切符を買うなど、少しの支援で買い物やボウリングを楽しむことができる方がいます。重い障害を持っていても、カラオケやハイキングだって可能です。知的障害のある方の外出や社会参加にあなたの力を貸してくれませんか？修了後は、ケアこげらのガイドヘルパーとして登録することができます。知的障害者・児ガイドヘルパー養成講座(東京都指定)

講義：9月17日(土)、18日(日) 9:10~17:00

三鷹市市民協働センター(JR三鷹駅徒歩15分)

演習：9月25日(日) 10:00~16:00

国営昭和記念公園

定員：40名

費用：10,000円

申込み・問合せ：

NPOこげら会・ケアこげら TEL：0422-52-3103

<http://www.h2.dion.ne.jp/~kogera/index.html>

創価大学手話サークル スピーチコンテスト弁士出場者大募集

スピーチテーマ：

『私にとっての手話とは』...今までの人生の中で、手話やろう文化などを通して得たことや感じたこと、自分自身の中で変わったこと、手話を始めたきっかけ、これからの展望等、なんでも結構です弁士対象者：

聴者であれば特に資格制限はありませんが、場合に応じて対応します(例：小・中学生は保護者同伴等)スピーチ形態：

日本手話を用いた一人5分程度のスピーチと3分程度の質疑応答

日時：10月30日(日)12:30開場/13:00開始

場所：創価大学 学生ホール3階 多目的ホール

*終了後、交流会を予定。途中参加OK! 会費500円

応募締切：9月20日(火)

応募方法：下記までご連絡ください。

創価大学 学友会 Mission Hands

〒192-8577 八王子市丹木町1-236

Eメール：e0301661@soka.ac.jp(代表：藤吉)

運転ボランティア募集

ヘルプ協会〔たちかわ〕では、障害や加齢などにより移動が困難な方に対し、福祉車両を使った移動支援(移送サービス)を行っています。現在、運転ボランティアが不足しておりますので、是非、ご協力ください。

活動内容：福祉車両の運転

活動時間：応相談(一週間に一回の活動でも可)

研修：車椅子操作、運転等研修有り

募集対象：男女不問・普通免許取得後3年以上経過している者・福祉活動に興味、理解のある方

問合せ：ヘルプ協会〔たちかわ〕移送事業部

TEL：042-522-6144 (担当：金田)

横浜バンコク青年交流2005企画運営 ボランティアスタッフ募集

横浜とタイの青年たちと30年を超える歴史ある交流プログラムです。両国のボランティアの青年たちに支えられながら、毎年秋にはタイの青年を横浜へ迎え、横浜からも青年たちがタイへとお互いの交流の輪が大きく広がっています。ボランティアの仲間たちと受入プログラムの企画運営をしながら、タイのことを知り、タイの若者たちと出逢いやふれあいの体験してみませんか。

受入期間：11月1日(火)~8日(火)(8日間)

活動内容：青年交流セミナー(タイ青年と共に宿泊、タイ料理体験や鎌倉見学)、ホームステイ、交流会、横浜市長表敬訪問、市内見学、テーマ別研修等の企画運営。

活動場所：横浜市青少年育成センター(横浜区内)を中心に9月から土日に数回集ります。

募集人員：10名程度(語学力など経験は問いません。タイに興味のある方歓迎。)

応募方法：郵便はがきかメールで住所、お名前、学生かお仕事等、連絡先電話、出来れば応募の動機などをご記入の上お申込みください。

申込み問合せ先：

横浜市青年団体連絡協議会

〒231-0013横浜市中区住吉町4-42-1

横浜市青少年育成センター内

<http://yokohama.sr777.com>

mail:yokohama@sr777.com

TEL：045-662-7348(留守電対応になります。)

ご存知ですか？

30名のクラスで2名程度はいるといわれる「学習障害」のこと

「LD(学習障害)」「ADHD(注意欠陥/多動性障害)」「高機能自閉症」。耳にされたことはあるだろうか。これらは知的発達に遅れはないものの学習や行動面で周囲に「気になるな」と感じさせる障害である。中枢神経になんらかの障害があるといわれ、学齢前後に「あれ?」と周囲が気付く場合が多いと言われる。

LD(学習障害)

聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち特定のものに困難が見られる

ADHD

(注意欠陥/多動性障害)
不注意、衝動性、多動性の3つを柱にして、「教室の中でじっとしてられない子」などと見られたりする

高機能自閉症

他人との社会的関係性が築きづらく、こだわり行動などが見られるといった自閉症の特徴は持つが知的遅れが見られないもの。「アスペルガー症候群」などが代表的

親同士の情報交換の場

「学習に困難を示す子供を支援する会 サンライズ」は、上記のような障害のある子どもたちの親同士の情報交換、励ましあいの場として定例会を開催している(毎月第3水曜日午前中/高松公民館)。

定例会では「子どもの気になる行動に家族としてどう対応したらいいのか」「どの医療機関に相談したらいいのか」「学校は普通学級?障害児学級?」「どんな就職先があるのか」など情報交換をしている。年齢に応じて子どもに必要な情報やサポートは変化する。

4年前の会の発足時より定例会の出席が少なくなり、今後の会のあり方を話し合ったことがあるが、子どもの成長に合わせて情報が欲しいし、相談する場をなくしたくない、どこかでつながりたいとの声から代表の藤巻さんは親の会の大切さを痛感したという。



「本人活動もこれからは大事」と藤巻さん

不登校、ひきこもりといった二次的障害も

これらの子どもたちの障害は、見た目には分かりにくいので、周囲に誤解されキズつくことも多い。また、いじめの対象となることもあり、不登校や引きこもりといった二次的障害になることも少なくない。

その子どもの障害を理解し、その子どもに合った対応と援助によって良い方向へ向かうことが出来る。こういう子どもたちの存在を多くの方々に知ってもらい見守ってほしい、と藤巻さん。

今後は、年齢を重ねるにつれ、就労困難、生活困難に陥る人もいるので、親亡き後のことも含め、本人のことをよく理解してくれ、人生の要所要所でサポートする支援体制を作ることが必要である。

「今までの蓄積を提供できます」

藤巻さんは、自分の子どもの変化に直面しながら、情報を集め、学び、必要な人や機関とのつながりを作ってきた。

藤巻さんは言う。「今までのネットワークで、人や医療機関などの情報提供が出来ます。自分の子どもの場合にはこうだったという話をすることも。必要な人は連絡ください。定例会への参加もできます」

<参考資料:LD・ADHD・高機能自閉症とは?
全国LD親の会 2004年12月発行>

学習に困難を示す子供を支援する会 サンライズ 藤巻さん TEL:042-527-7450
全国LD(学習障害)親の会 <http://www.normanet.ne.jp/~zenkokld/>
NPO法人えじそんくらぶ <http://www.e-club.jp>

ご協力ありがとうございます！

『市民活動センター たちかわ通信』を常設しているところ(下記の場所で受け取ることができます)

立川市社会福祉協議会・市内各公民館・図書館・福祉会館・学習等供用施設
フレンド書房・セイフー立川若葉店・モスバーガー立川高松町店・
トヨタ西東京カローラ立川富士見町店・レストランサラ・東京ボランティア・市民活動センター

一部地域に新聞折込をいただいています

Y C 読売新聞立川北部サービスセンターの皆様のご好意により、
読売新聞をご購読の方は折り込みにて配布されます。(栄町・高松町・曙町の一部)



市民活動センターたちかわの おすすめ活用法

ホームページ「市民活動WEBたちかわ」

登録団体はホームページのシステムを無料でご利用いただけます。講座のお知らせなど自由な更新が可能となっております。ぜひご利用を。



市民活動センターに登録しませんか？

登録していただくと市民活動センターの広報媒体を使い広く市民のみなさまに活動を広報できるほか、団体として貸室の予約が早く申し込める、印刷機が安く使用することが出来るなどのメリットもあります。毎年4月の更新です。

登録のご希望は市民活動センターまでご連絡ください。

Tel 042-529-8323 Fax 042-529-8714

Email aiaivc@whi.m-net.ne.jp

会議にイベントに…
是非ご利用ください！



貸し出しスペースについて

- ・ボランティアルームふじみ(立川市総合福祉センター内)
- ・ボランティアルームしばざき(立川市シルバー人材センター内)
- ・事務所前のスペース(活動センター前)

活動センター前では無線でインターネットがご使用になれます。

お申し込み方法

事前にお電話が来所にてお申し込みください。先着順とさせていただきます。

(登録グループは優先予約あり)

交通アクセス:

JR立川北口駅より徒歩15分、JR西立川駅より徒歩8分。北口バス停 乗り場、富士見町2丁目下車徒歩4分。

立川市女性総合センターアイム前発くるりんバス、南くるりん左回り乗車。『総合福祉センター前』下車徒歩0分。

平日は無料シャトルバスが立川駅北口バスロータリー交番前より9:50、10:30、11:10、11:50、13:10、13:50、14:30に出ています。

